

# I 平成30年鉱工業指数の動向

# 1 概況

平成30年の本県の鉱工業指数(原指数)は、平成27年を100.0とした年平均で見ると、

生産指数は90.1となり、対前年比で2.5%の低下となった。  
 生産者出荷指数は81.4となり、対前年比で1.9%の低下となった。  
 生産者製品在庫指数は75.6となり、対前年比で1.9%の上昇となった。

本県鉱工業の推移をみると、生産指数は2年ぶりに上昇した平成29年と比べて低下した。出荷指数も同じく上昇した平成29年と比べて低下した。在庫指数は平成26年以来3年ぶりに上昇した。

生産指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、化学・石油製品工業、その他の工業などの低下により、全体として対前年比2.5%の低下となった。

出荷指数の低下要因を業種別にみると、食料品工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業などの低下により、全体として対前年比1.9%の低下となった。

在庫指数の上昇要因を業種別にみると、金属製品工業、その他の工業、鉄鋼業などの上昇により、全体として対前年比1.9%の上昇となった。

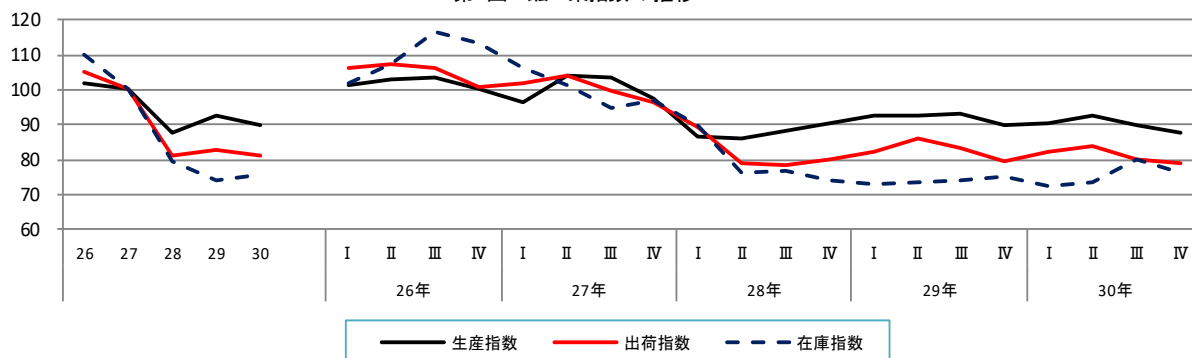
第1表 鉱工業指数(原指数)・対前年比(%) 平成27年=100.0

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
生産指数	101.9	100.0	87.6	92.4	90.1
前年比(%)	0.8	▲ 1.9	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5
出荷指数	105.1	100.0	81.4	83.0	81.4
前年比(%)	▲ 1.1	▲ 4.9	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9
在庫指数	109.8	100.0	79.3	74.2	75.6
前年比(%)	11.2	▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9

第2表 鉱工業指数(季節調整済指数)・対前期比(%) 平成27年=100.0

	平成29年				平成30年			
	I期	II期	III期	IV期	I期	II期	III期	IV期
生産指数	92.6	92.5	93.3	89.9	90.2	92.8	89.8	87.6
前期比(%)	2.3	▲ 0.1	0.9	▲ 3.6	0.3	2.9	▲ 3.2	▲ 2.4
出荷指数	82.1	86.3	83.2	79.7	82.5	83.8	80.1	79.1
前期比(%)	2.8	5.1	▲ 3.6	▲ 4.2	3.5	1.6	▲ 4.4	▲ 1.2
在庫指数	73.1	73.8	74.3	75.4	72.2	73.8	80.0	76.3
前期比(%)	▲ 1.2	1.0	0.7	1.5	▲ 4.2	2.2	8.4	▲ 4.6

第1図 鉱工業指数の推移



※年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数

(1)生産

生産指数(指数水準90.1、対前年比2.5%減)

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、鋳業、パルプ・紙・紙加工品工業の3業種であった。  
生産の低下に寄与した業種は、食料品工業、化学・石油製品工業、その他の工業などの6業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準90.2、対前期比0.3%増)

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比7.0%増)などの4業種であった。  
生産の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比6.3%減)などの5業種であった。

II期(指数水準92.8、対前期比2.9%増)

生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比5.7%増)などの9業種であった。  
生産の低下に寄与した業種は、なかった。

III期(指数水準89.8、対前期比3.2%減)

生産の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比7.4%減)などの8業種であった。  
生産の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比2.9%増)の1業種であった。

IV期(指数水準87.6、対前期比2.4%減)

生産の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比10.8%減)などの6業種であった。  
生産の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比0.8%増)などの3業種であった。

第3表 業種別生産指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H29	H30				原指数		30年 季節調整済指数			
		28年	29年	30年	IV期	I期	II期	III期	IV期	29年	30年	I期	II期	III期	IV期
鋳工業	10000.0	87.6	92.4	90.1	89.9	90.2	92.8	89.8	87.6	5.5	▲ 2.5	0.3	2.9	▲ 3.2	▲ 2.4
鉄鋼業	353.7	92.7	109.4	102.1	112.7	106.6	109.4	99.5	94.6	18.0	▲ 6.7	▲ 5.4	2.6	▲ 9.0	▲ 4.9
金属製品工業	1340.2	92.9	101.4	108.3	98.6	105.5	111.5	114.7	102.3	9.1	6.8	7.0	5.7	2.9	▲ 10.8
窯業・土石製品工業	1794.1	87.8	99.3	98.3	101.2	100.7	103.4	95.7	93.8	13.1	▲ 1.0	▲ 0.5	2.7	▲ 7.4	▲ 2.0
化学・石油製品工業	697.6	49.8	51.1	45.7	48.4	48.0	48.6	45.5	40.0	2.6	▲ 10.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.4	▲ 12.1
プラスチック製品工業	171.9	102.9	103.1	99.1	107.4	95.0	105.1	96.4	100.0	0.2	▲ 3.9	▲ 11.5	10.6	▲ 8.3	3.7
パルプ・紙・紙加工品工業	160.2	96.9	99.2	102.3	99.4	102.4	103.7	101.6	101.1	2.4	3.1	3.0	1.3	▲ 2.0	▲ 0.5
食料品工業	4534.5	87.4	89.2	84.3	84.0	84.9	85.6	83.0	83.7	2.1	▲ 5.5	1.1	0.8	▲ 3.0	0.8
その他の工業	809.0	104.1	104.3	100.5	105.3	98.7	102.9	99.0	101.2	0.2	▲ 3.6	▲ 6.3	4.3	▲ 3.8	2.2
鋳業	138.8	88.7	91.8	102.4	95.5	101.8	108.3	101.5	98.9	3.5	11.5	6.6	6.4	▲ 6.3	▲ 2.6

注) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(2) 出荷

出荷指数(指数水準81.4、対前年比1.9%減)

出荷の低下に寄与した業種は、食料品工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業などの5業種であった。  
 出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I 期(指数水準82.5、対前期比3.5%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比3.5%増)などの7業種であった。  
 出荷の低下に寄与した業種は、その他の工業(対前期比4.8%減)などの2業種であった。

II 期(指数水準83.8、対前期比1.6%増)

出荷の上昇に寄与した業種は、化学・石油製品工業(対前期比17.8%増)などの6業種であった。  
 出荷の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比0.4%減)などの2業種であった。

III 期(指数水準80.1、対前期比4.4%減)

出荷の低下に寄与した業種は、窯業・土石製品工業(対前期比9.7%減)などの7業種であった。  
 出荷の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比3.2%増)などの2業種であった。

IV 期(指数水準79.1、対前期比1.2%減)

出荷の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比8.5%減)などの4業種であった。  
 出荷の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比0.8%増)などの5業種であった。

第4表 業種別出荷指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H29	H30				原指数		30年 季節調整済指数			
		28年	29年	30年	IV期	I 期	II 期	III 期	IV 期	29年	30年	I 期	II 期	III 期	IV 期
鋳工業	10000.0	81.4	83.0	81.4	79.7	82.5	83.8	80.1	79.1	2.0	▲ 1.9	3.5	1.6	▲ 4.4	▲ 1.2
鉄鋼業	516.7	96.6	108.8	102.0	105.9	107.1	107.1	96.6	97.9	12.6	▲ 6.3	1.1	0.0	▲ 9.8	1.3
金属製品工業	934.6	91.9	100.0	107.5	95.7	106.1	108.9	112.4	102.9	8.8	7.5	10.9	2.6	3.2	▲ 8.5
窯業・土石製品工業	1377.8	87.9	101.0	97.6	103.6	102.8	102.4	92.5	93.2	14.9	▲ 3.4	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 9.7	0.8
化学・石油製品工業	1823.3	26.3	10.8	10.3	9.7	10.1	11.9	10.3	9.1	▲ 58.9	▲ 4.6	4.1	17.8	▲ 13.4	▲ 11.7
プラスチック製品工業	164.0	103.9	103.2	109.2	97.8	104.7	107.1	115.8	107.5	▲ 0.7	5.8	7.1	2.3	8.1	▲ 7.2
パルプ・紙・紙加工品工業	163.4	95.8	98.8	103.0	98.9	103.5	104.7	103.1	100.6	3.1	4.3	4.7	1.2	▲ 1.5	▲ 2.4
食料品工業	4332.2	93.8	96.5	93.4	90.8	94.0	94.6	92.0	92.7	2.9	▲ 3.2	3.5	0.6	▲ 2.7	0.8
その他の工業	583.9	105.5	102.9	98.3	104.0	99.0	98.8	95.9	98.7	▲ 2.5	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 0.2	▲ 2.9	2.9
鋳業	104.1	87.7	99.2	104.8	96.6	104.3	111.7	97.9	105.5	13.1	5.6	8.0	7.1	▲ 12.4	7.8

注) その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

(3)在庫

在庫指数(指数水準75.6、対前年比1.9%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業、その他の工業、鉄鋼業などの5業種であった。  
在庫の低下に寄与した業種は、鉱業、食料品工業、化学・石油製品工業などの4業種であった。

四半期別にみると、次のとおりである。

I期(指数水準72.2、対前期比4.2%減)

在庫の低下に寄与した業種は、鉱業(対前期比31.9%減)などの3業種であった。  
在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比13.2%増)などの6業種であった。

II期(指数水準73.8、対前期比2.2%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比7.4%増)などの6業種であった。  
在庫の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.1%減)などの3業種であった。

III期(指数水準80.0、対前期比8.4%増)

在庫の上昇に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比75.8%増)などの4業種であった。  
在庫の低下に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.2%減)などの4業種であった。

IV期(指数水準76.3、対前期比4.6%減)

在庫の低下に寄与した業種は、金属製品工業(対前期比24.9%減)などの5業種であった。  
在庫の上昇に寄与した業種は、食料品工業(対前期比1.5%増)などの4業種であった。

第5表 業種別在庫指数の動き

平成27年=100.0

	ウェイト	原指数			季節調整済指数					対前年(期)上昇率(%)					
					H29	H30				原指数		30年 季節調整済指数			
		28年	29年	30年	IV期	I期	II期	III期	IV期	29年	30年	I期	II期	III期	IV期
鉱工業	10000.0	79.3	74.2	75.6	75.4	72.2	73.8	80.0	76.3	▲ 6.4	1.9	▲ 4.2	2.2	8.4	▲ 4.6
鉄鋼業	813.0	83.4	72.6	83.3	77.8	79.2	82.1	86.5	85.6	▲ 12.9	14.7	1.8	3.7	5.4	▲ 1.0
金属製品工業	534.3	91.9	99.3	174.3	111.9	126.7	136.1	239.2	179.7	8.1	75.5	13.2	7.4	75.8	▲ 24.9
窯業・土石製品工業	1231.9	91.4	83.9	86.4	79.6	80.6	82.2	91.0	91.3	▲ 8.2	3.0	1.3	2.0	10.7	0.3
化学・石油製品工業	2800.2	32.6	20.3	19.8	19.4	19.7	21.2	21.2	17.6	▲ 37.7	▲ 2.5	1.5	7.6	0.0	▲ 17.0
プラスチック製品工業	143.0	118.1	127.1	136.4	133.6	140.0	138.1	132.0	136.0	7.6	7.3	4.8	▲ 1.4	▲ 4.4	3.0
パルプ・紙・紙加工品工業	91.6	107.1	114.9	108.2	116.7	110.4	114.2	106.0	102.3	7.3	▲ 5.8	▲ 5.4	3.4	▲ 7.2	▲ 3.5
食料品工業	3415.0	98.6	97.0	92.9	98.4	93.9	92.9	91.8	93.2	▲ 1.6	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 1.1	▲ 1.2	1.5
その他の工業	177.2	88.6	100.4	160.6	111.1	135.3	150.5	172.0	182.8	13.3	60.0	21.8	11.2	14.3	6.3
鉱業	793.8	117.0	115.7	73.5	113.7	77.4	75.7	72.3	68.9	▲ 1.1	▲ 36.5	▲ 31.9	▲ 2.2	▲ 4.5	▲ 4.7

注1)その他の工業は、非鉄金属工業、印刷業、繊維工業を統合したもの。

## 2 業種別の動向

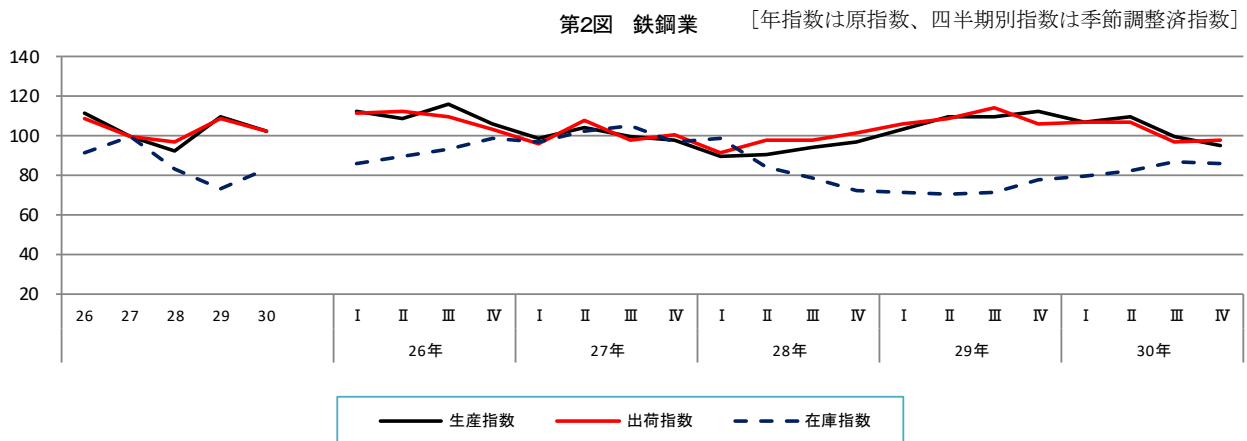
### (1) 鉄鋼業

生産指数は102.1（対前年比6.7%減）となった。

出荷指数は102.0（対前年比6.3%減）となった。

在庫指数は83.3（対前年比14.7%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は5.4%低下し、Ⅱ期は2.6%上昇したものの、Ⅲ期は9.0%、Ⅳ期も4.9%低下した。



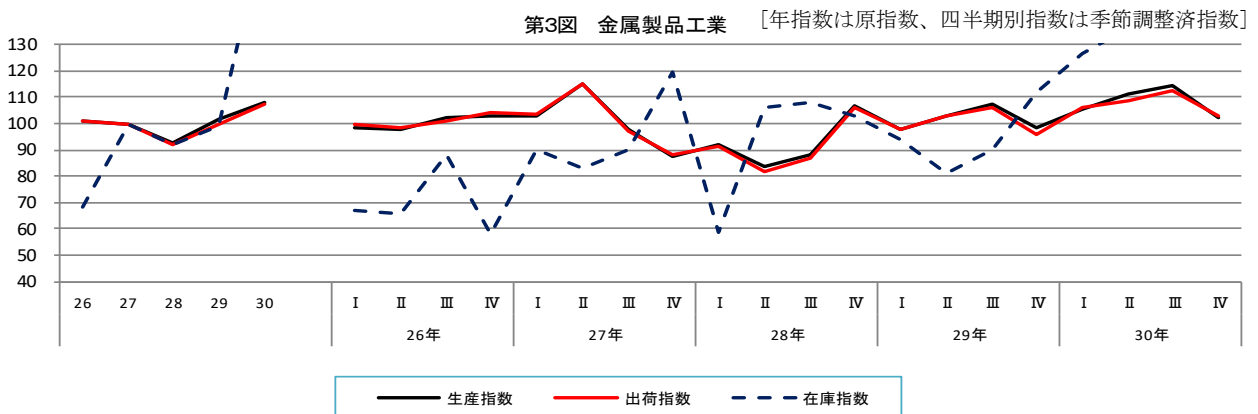
### (2) 金属製品工業

生産指数は108.3（対前年比6.8%増）となった。

出荷指数は107.5（対前年比7.5%増）となった。

在庫指数は174.3（対前年比75.5%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は7.0%、Ⅱ期は5.7%、Ⅲ期は2.9%上昇したものの、Ⅳ期は10.8%低下した。



### (3) 窯業・土石製品工業

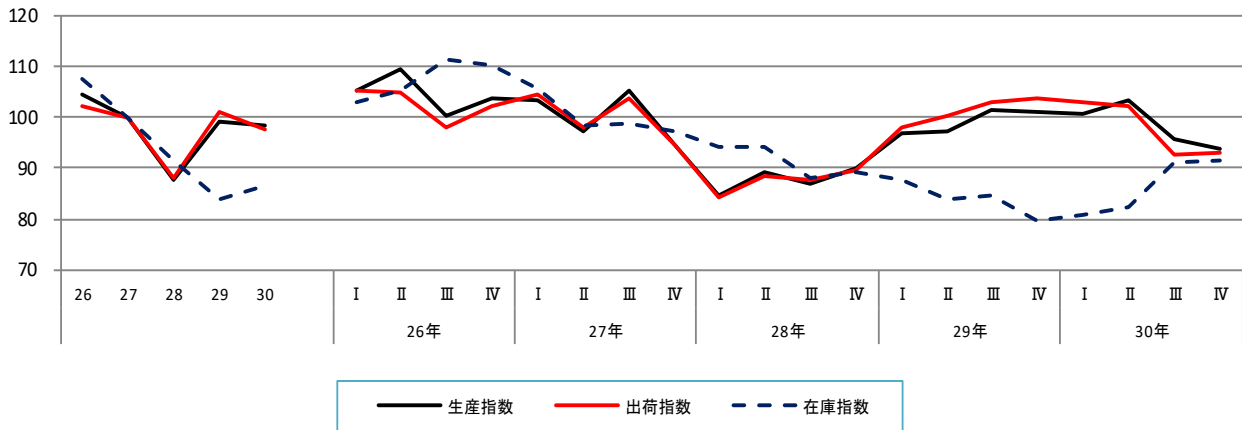
生産指数は98.3（対前年比1.0%減）となった。

出荷指数は97.6（対前年比3.4%減）となった。

在庫指数は86.4（対前年比3.0%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は0.5%低下し、Ⅱ期は2.7%上昇したものの、再びⅢ期は7.4%、Ⅳ期も2.0%低下した。

第4図 窯業・土石製品工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



### (4) 化学・石油製品工業

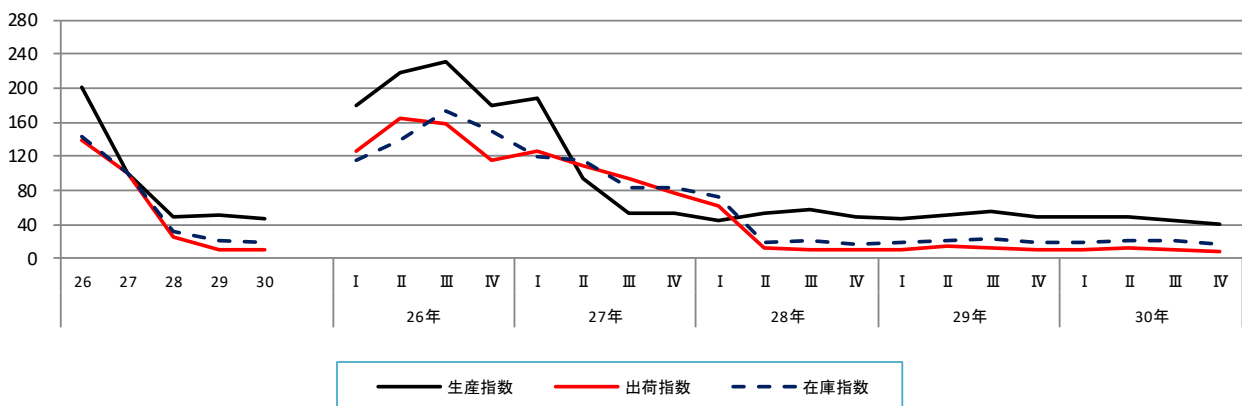
生産指数は45.7（対前年比10.6%減）となった。

出荷指数は10.3（対前年比4.6%減）となった。

在庫指数は19.8（対前年比2.5%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は0.8%低下し、Ⅱ期は1.3%上昇したものの、Ⅲ期は6.4%、Ⅳ期は12.1%低下した。

第5図 化学・石油製品工業 [年指数は原指数、四半期別指数は季節調整済指数]



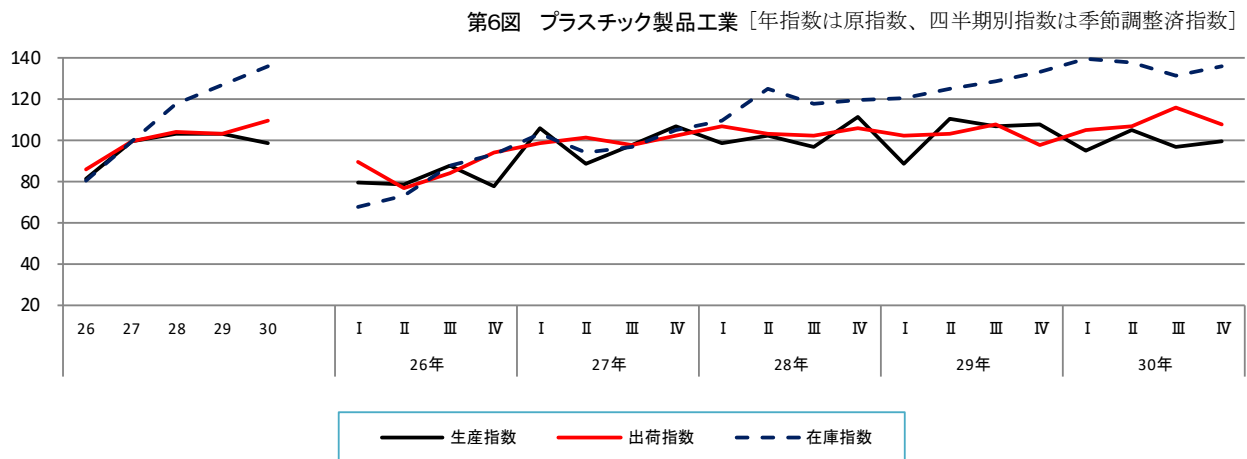
## (5) プラスチック製品工業

生産指数は99.1（対前年比3.9%減）となった。

出荷指数は109.2（対前年比5.8%増）となった。

在庫指数は136.4（対前年比7.3%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は11.5%低下、Ⅱ期は10.6%上昇、Ⅲ期は8.3%低下し、Ⅳ期は3.7%上昇した。



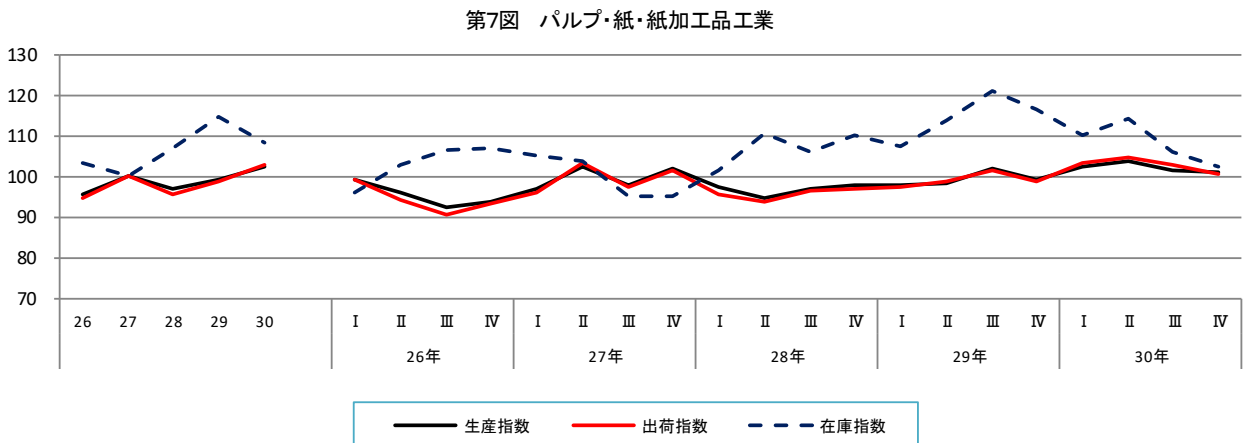
## (6) パルプ・紙・紙加工品工業

生産指数は102.3（対前年比3.1%増）となった。

出荷指数は103.0（対前年比4.3%増）となった。

在庫指数は108.2（対前年比5.8%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は3.0%、Ⅱ期は1.3%上昇したがⅢ期は2.0%、Ⅳ期は0.5%低下した。





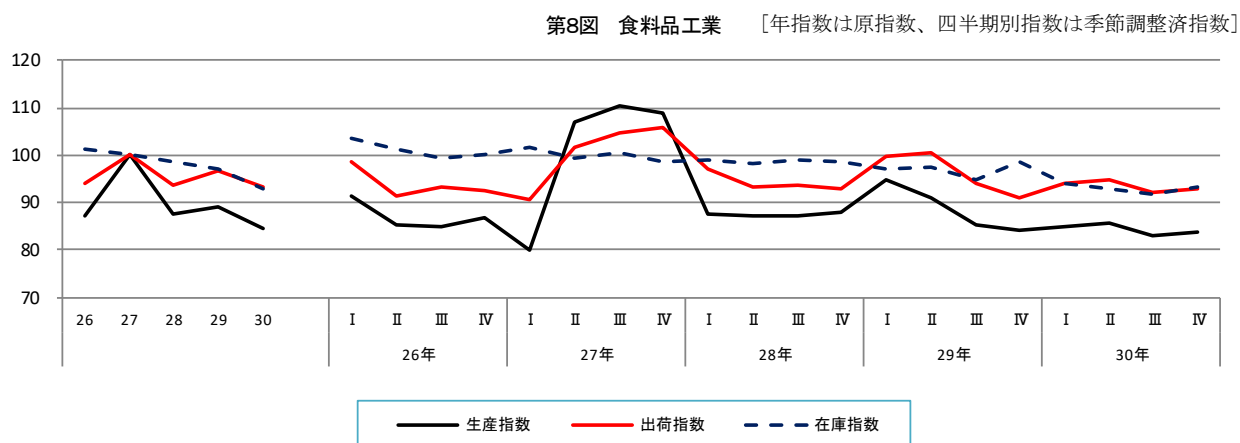
## (7) 食料品工業

生産指数は84.3（対前年比5.5%減）となった。

出荷指数は93.4（対前年比3.2%減）となった。

在庫指数は92.9（対前年比4.2%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は1.1%、Ⅱ期は0.8%上昇し、Ⅲ期は3.0%低下したが、再びⅣ期は0.8%上昇した。



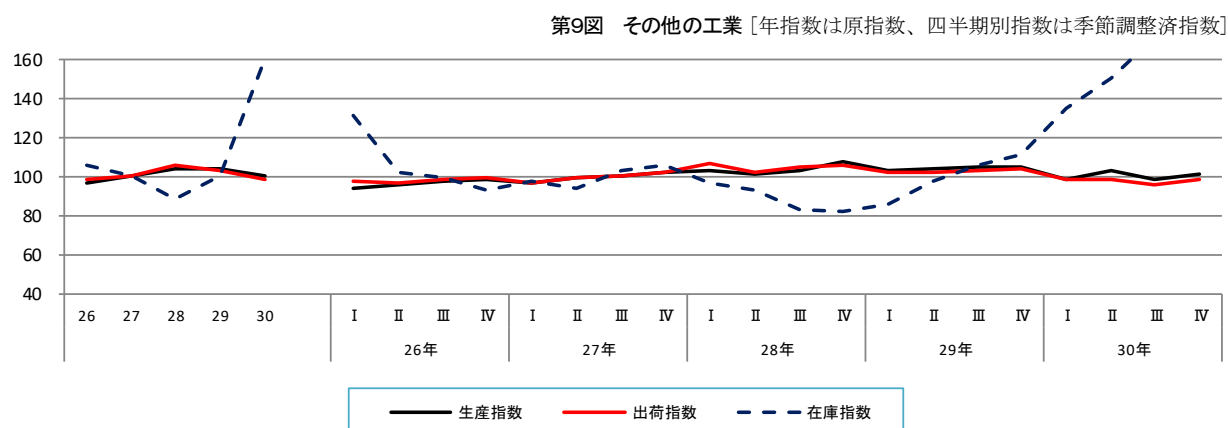
## (8) その他の工業

生産指数は100.5（対前年比3.6%減）となった。

出荷指数は98.3（対前年比4.5%減）となった。

在庫指数は160.6（対前年比60.0%増）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、対前期比でⅠ期は6.3%低下し、Ⅱ期は4.3%上昇したが、Ⅲ期は3.8%低下し、Ⅳ期は再び2.2%上昇した。



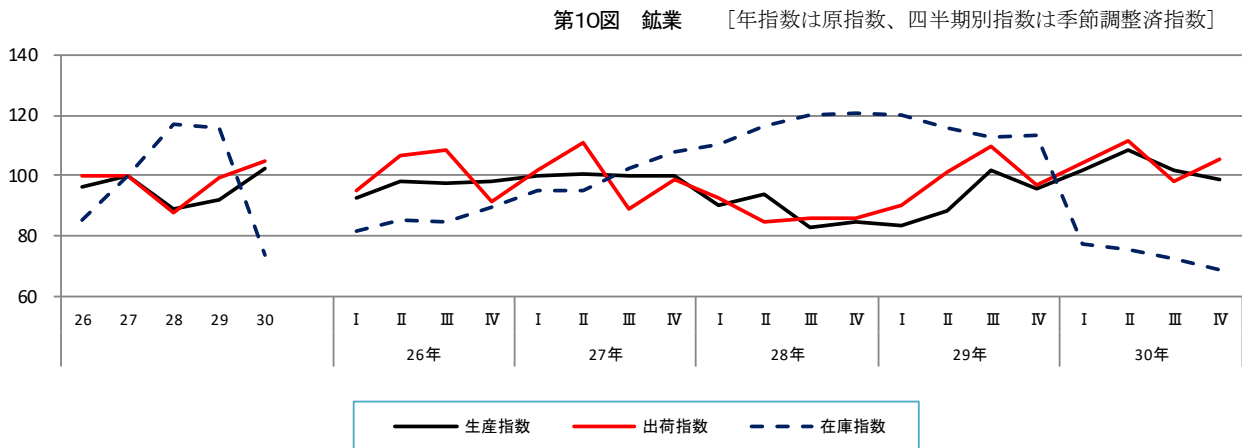
## (9) 鉱業

生産指数は指数水準102.4（対前年比11.5%増）となった。

出荷指数は指数水準104.8（対前年比5.6%増）となった。

在庫指数は指数水準73.5（対前年比36.5%減）となった。

また、四半期の生産指数（季節調整済）をみると、Ⅰ期は6.6%、Ⅱ期は6.4%上昇したがⅢ期は6.3%、Ⅳ期も2.6%低下した。



### 3 財別の動向

#### (1) 生産

生産の動向を財別にみると、

最終需要財は99.2となり、対前年比で0.4%の低下となった。  
生産財は68.4となり、対前年比で9.2%の低下となった。

最終需要財の投資財は102.2(対前年比3.7%増)、消費財は96.4(対前年比4.1%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は60.8(対前年比11.6%減)、その他用生産財は77.7(対前年比6.6%減)となった。

#### (2) 出荷

出荷の動向を財別にみると、

最終需要財は95.6となり、対前年比で0.9%の低下となった。  
生産財は52.6となり、対前年比で5.4%の低下となった。

最終需要財の投資財は101.5(対前年比2.0%増)、消費財は91.4(対前年比3.3%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は60.7(対前年比8.7%減)、その他用生産財は46.8(対前年比2.1%減)となった。

#### (3) 在庫

在庫の動向を財別にみると、

最終需要財は96.4となり、対前年比で8.4%の上昇となった。  
生産財は41.4となり、対前年比で16.9%の低下となった。

最終需要財の投資財は103.7(対前年比24.2%増)、消費財は91.2(対前年比1.6%減)となった。  
生産財の鉱工業用生産財は53.0(対前年比24.5%減)、その他用生産財は30.5(対前年比0.3%減)となった。

第6表 財別生産指数

平成27年=100.0

	ウェイト	生産指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
鉱工業	10000.0	101.9	100.0	87.6	92.4	90.1	0.8	▲ 1.9	▲ 12.4	5.5	▲ 2.5
最終需要財	7032.8	103.0	100.0	94.8	99.6	99.2	▲ 0.3	▲ 2.9	▲ 5.2	5.1	▲ 0.4
投資財	3425.2	103.8	100.0	90.5	98.6	102.2	0.5	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0	3.7
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	3425.2	103.8	100.0	90.5	98.6	102.2	0.5	▲ 3.7	▲ 9.5	9.0	3.7
消費財	3607.6	102.2	100.0	98.9	100.5	96.4	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3607.6	102.2	100.0	98.9	100.5	96.4	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 1.1	1.6	▲ 4.1
生産財	2967.2	99.4	100.0	70.5	75.3	68.4	3.6	0.6	▲ 29.5	6.8	▲ 9.2
鉱工業用生産財	1641.9	77.4	100.0	59.4	68.8	60.8	▲ 1.0	29.2	▲ 40.6	15.8	▲ 11.6
その他用生産財	1325.3	126.7	100.0	84.1	83.2	77.7	7.5	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 1.1	▲ 6.6

第7表 財別出荷指数

平成27年=100.0

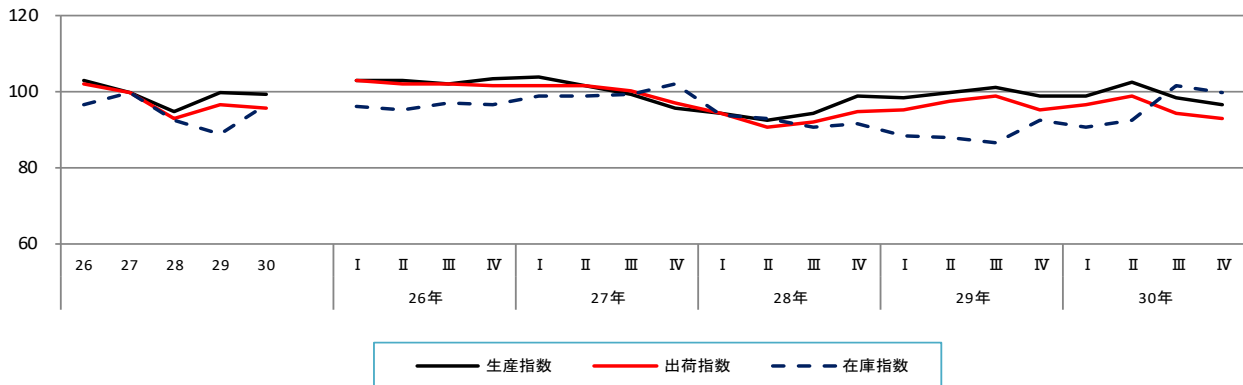
	ウェイト	出荷指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
鉱工業	10000.0	105.1	100.0	81.4	83.0	81.4	▲ 1.1	▲ 4.9	▲ 18.6	2.0	▲ 1.9
最終需要財	6700.4	102.2	100.0	92.8	96.5	95.6	0.1	▲ 2.2	▲ 7.2	4.0	▲ 0.9
投資財	2765.9	103.1	100.0	91.2	99.5	101.5	1.6	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1	2.0
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2765.9	103.1	100.0	91.2	99.5	101.5	1.6	▲ 3.0	▲ 8.8	9.1	2.0
消費財	3934.5	101.6	100.0	93.9	94.5	91.4	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3934.5	101.6	100.0	93.9	94.5	91.4	▲ 0.9	▲ 1.6	▲ 6.1	0.6	▲ 3.3
生産財	3299.6	110.9	100.0	58.5	55.6	52.6	▲ 3.5	▲ 9.8	▲ 41.5	▲ 5.0	▲ 5.4
鉱工業用生産財	1376.2	96.4	100.0	59.7	66.5	60.7	▲ 3.6	3.7	▲ 40.3	11.4	▲ 8.7
その他用生産財	1923.4	121.3	100.0	57.6	47.8	46.8	▲ 3.4	▲ 17.6	▲ 42.4	▲ 17.0	▲ 2.1

第8表 財別在庫指数

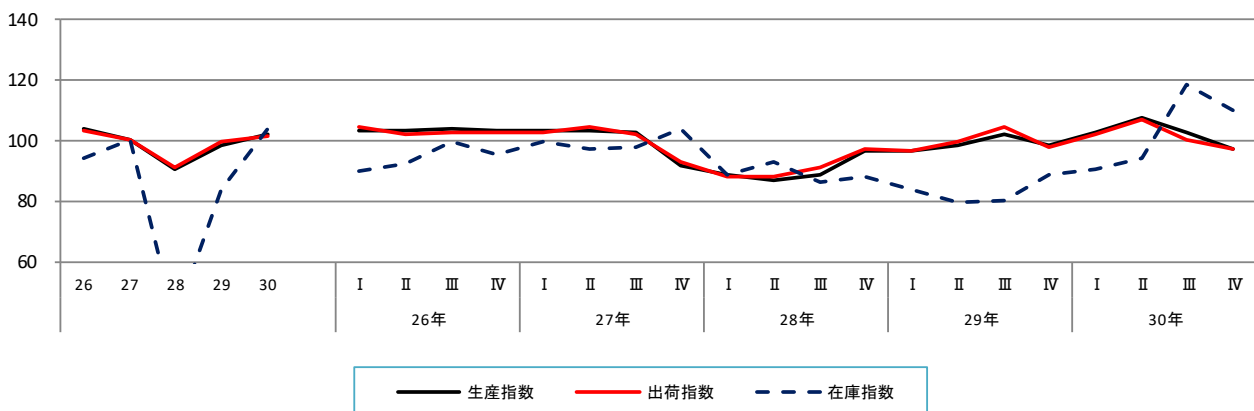
平成27年=100.0

	ウェイト	在庫指数(原指数)					対前年増減率(%)				
		26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
鉱工業	10000.0	109.8	100.0	79.3	74.2	75.6	11.2	▲ 8.9	▲ 20.7	▲ 6.4	1.9
最終需要財	6230.0	96.4	100.0	92.3	88.9	96.4	▲ 0.1	3.7	▲ 7.7	▲ 3.7	8.4
投資財	2559.3	94.3	100.0	89.0	83.5	103.7	2.4	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2
資本財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建設財	2559.3	94.3	100.0	89.0	83.5	103.7	2.4	6.0	▲ 11.0	▲ 6.2	24.2
消費財	3670.7	97.9	100.0	94.6	92.7	91.2	▲ 1.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6
耐久消費財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非耐久消費財	3670.7	97.9	100.0	94.6	92.7	91.2	▲ 1.6	2.1	▲ 5.4	▲ 2.0	▲ 1.6
生産財	3770.0	132.1	100.0	57.9	49.8	41.4	29.1	▲ 24.3	▲ 42.1	▲ 14.0	▲ 16.9
鉱工業用生産財	1832.5	158.8	100.0	76.2	70.2	53.0	48.0	▲ 37.0	▲ 23.8	▲ 7.9	▲ 24.5
その他用生産財	1937.5	106.8	100.0	40.5	30.6	30.5	9.4	▲ 6.4	▲ 59.5	▲ 24.4	▲ 0.3

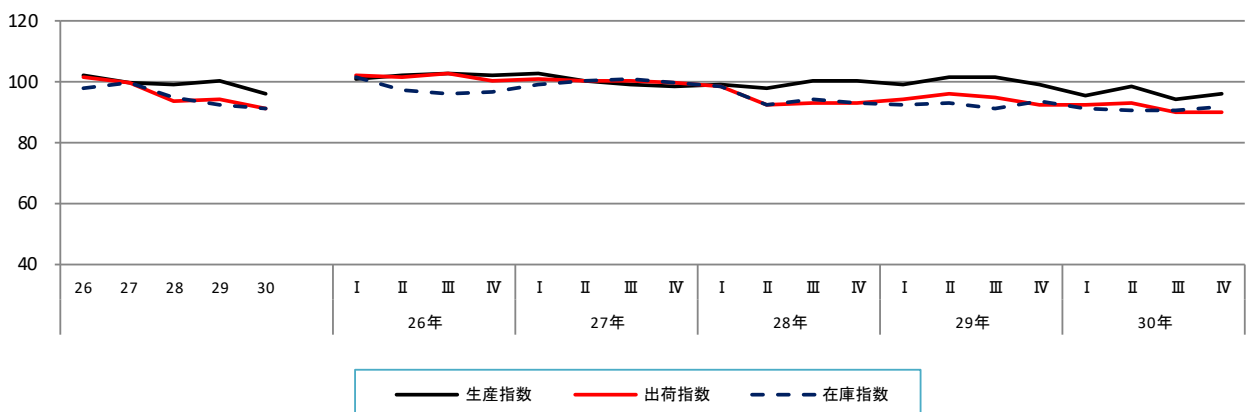
第11図 最終需要財



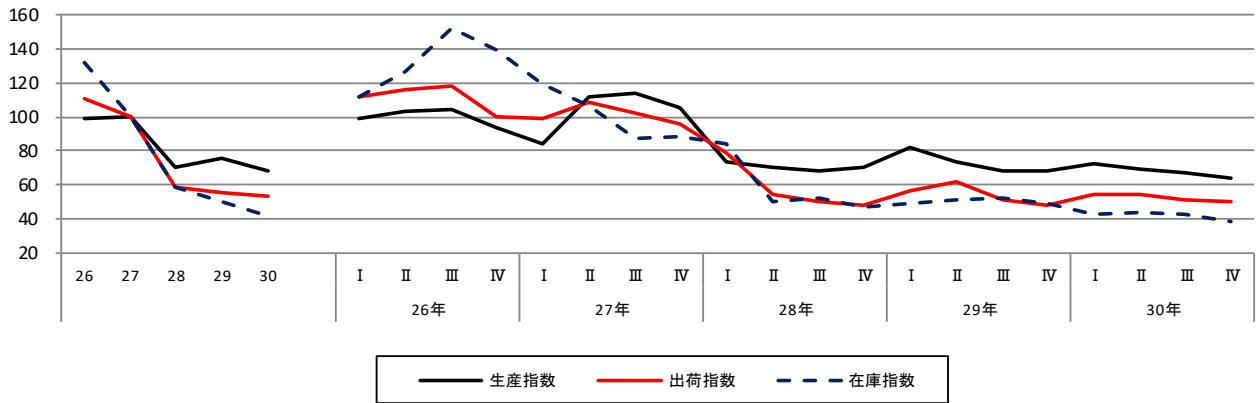
第12図 建設財



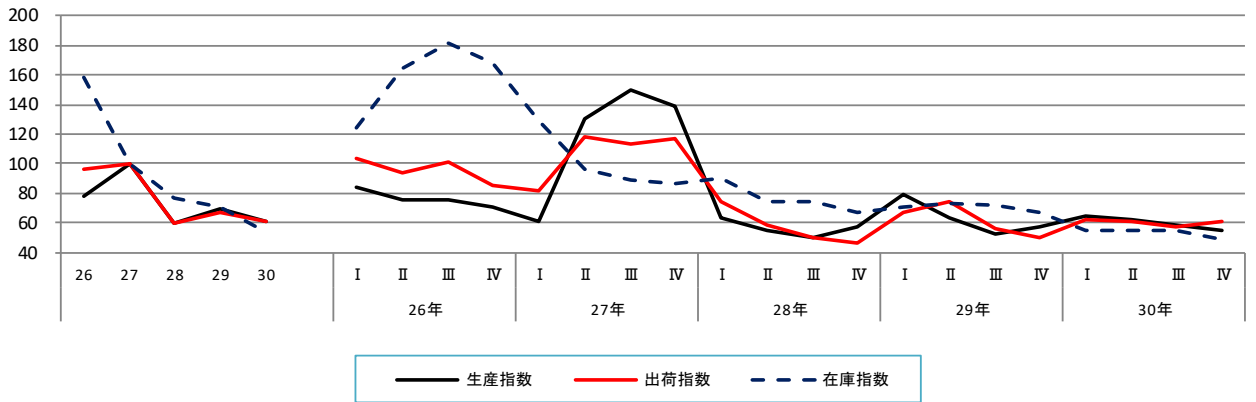
第13図 非耐久消費財



第14図 生産財



第15図 鉱工業用生産財



第16図 その他用生産財

